

# 管内経済情勢報告

(平成十七年一月)

## 前年を下回っているものの高水準を維持

管内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、持ち直しの動きが続いている。先行きについては、持ち直しの動きが持続する見込み。

### ポイント

生産活動は盛り上がりに欠け、個人消費は全体としてみれば底堅く雇用情勢は改善の動きが続き、観光は前年を下回っているものの先行きについて見込まれることから、持ち直しの動きが持続する見込み。

### 個人消費

個人消費をみると、百貨店は引き続き大型スーパーは、天候要因の影響から衣料品等の季節商品が低調であるものの、新規出店効果により主力の飲食品が堅調なことから、ほぼ前年並みとなっている。コンビニエンスストアは堅調に推移している。耐久消費財の動向をみると、家電販売(卸売)は、薄型テレビやDVDが好調なことから前年を上回っている。新車販売は、引き続き軽自動車が好調なほか、新型車投入効果から小型乗用車が前年を上回っており、全体でも前年を上回っている。中古車販売は堅調に推移している。

このように、個人消費は、全体としてみれば、底堅い動きとなっている。

先行きについては、天候要因による不透明感はあるものの主要スーパーの飲食料品などが引き続き堅調なことから、底堅いものと見込まれる。

### 生産

生産活動をみると、飲食品では、泡盛は好調に推移し、パン等も堅調なことから全体でも前年を上回っている。一方、窯業土石では、生コンは前年を上回っているものの、全体では前年を下回っている。金属製品、石油製品等でも前年を下回っている。このように、生産活動は一部に動きがみられるものの、盛り上がりを欠いている。

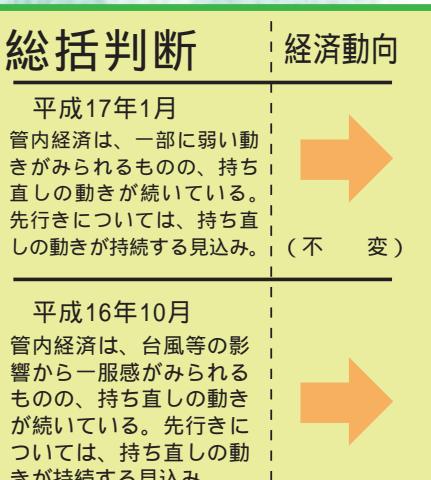
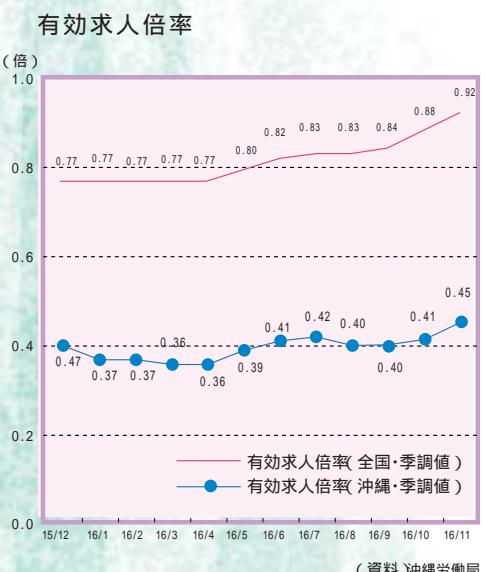
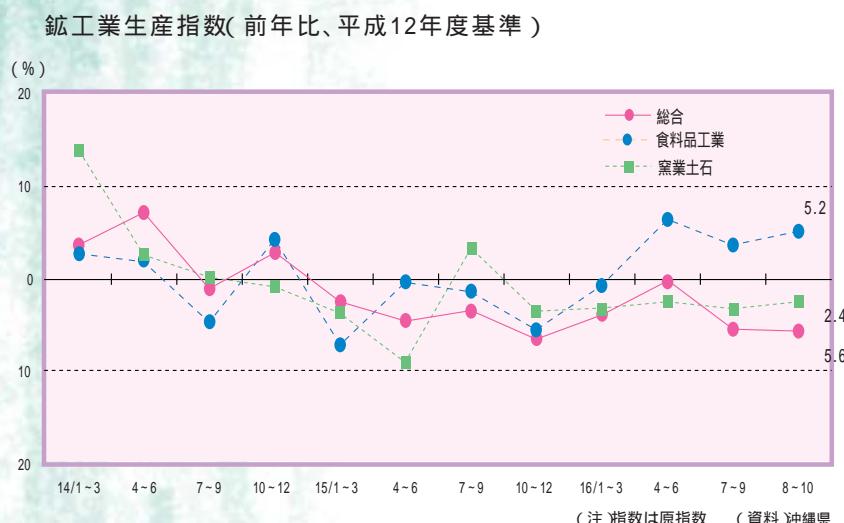
### 盛り上がりに欠ける

### 雇用情勢

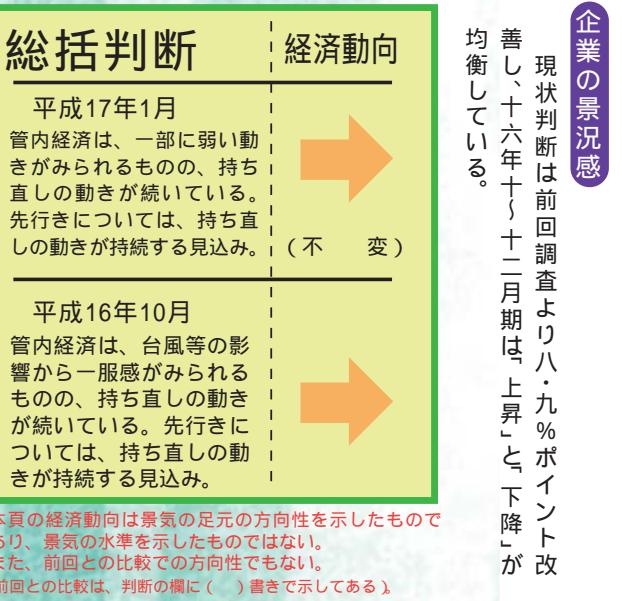
雇用情勢をみると、有効求人倍率は新規求人が増加していることから上昇している。こうしたなか、県外からの受求人は引き続き増加しており、就職件数も増加している。

このように、雇用情勢は改善の動きが続いている。

### 改善の動き続く



本頁の経済動向は景気の足元の方向性を示したものであり、景気の水準を示したものではない。また、前回との比較での方向性でもない。(前回との比較は、判断の欄に( )書きで示してある)



(前回との比較は、判断の欄に( )書きで示してある)



(前回との比較は、判断の欄に( )書きで示してある)

注: 公共事業の動向を公共工事前払金保証請負額(累計)でみると、全体では前年を上回っている。

注: 住宅建設は新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家、分譲でいずれも前年を上回っていること

から、全体でも前年を上回っている。

注: 設備投資は新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家、分譲でいずれも前年を上回っていること

から、全体でも前年を上回っている。

注: 公共事業の動向を公共工事前払金保証請負額(累計)でみると、全体では前年を上回っている。

注: 住宅建設は新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家、分譲でいずれも前年を上回っていること

から、全体でも前年を上回っている。

注: 設備投資は新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家、分譲でいずれも前年を上